

那覇市長 宛

令和 4 年 10 月 14 日

団体名 安謝川水系うみやま連合防災部会

代表者 稲垣 暁

担当者 平得 永太郎

新型コロナウイルス感染症対応『市民活動チャレンジ助成事業』

中間報告書

令和4年6月30日付、那覇市指令市ま第 1032 号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	「うみやま連合防災部会」組織づくり・人づくり・つながりづくり事業	
2.実施内容	<p>○9月26日(月)オリエンテーション 場所:なは市民協働プラザ2階2・3会議室 対象者:受講生及び講座担当者・運営者 内 容:受講生同士(12名)の顔合わせを行い、講座スケジュールを確認して学びたいことを発表した。</p> <p>○9月28日(水)基礎人材育成講座第1回・2回 場所:銘苅小学校地域連携室 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:稲垣 暁(防災士・社会福祉士) 内 容:第1回「日本における災害について」では、過去の日本で起こった自然災害について解説をもらい災害による甚大な影響について学んだ。第2回「自分たちの地域を知る」では、視覚的画像を用いて地図や危険建築物の画像を見ながら地域における自然災害の危険性を学んだ。</p> <p>○10月24日(月)足元を知るための地域分析手法 場所:なは市民協働プラザ2階2・3会議室 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:稲垣 暁・宮道 喜一 内 容:地域の災害リスクを客観的評価をするため重要な行政所有データの取得方法や評価方法について学んだ。</p> <p>○10月26日(水)基礎人材育成講座3回・4回 場所:那覇市中央消防署 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:野原 智尚(那覇市消防局職員)他5名 内 容:第3回「那覇市の防災への取り組み」について消防局職員より説明を聞いて、質疑応答をしながら災害時・平時の防災について学んだ。第4回「救急入門」では消防局職員から救急手当の基本について教授してもらい、実習機材を使って心肺蘇生法などの手法を学んだ。</p>	
3.これまでの活動の振り返り	<p>【良かった点】 視覚的映像を用いたことによりリアリティーある防災への取り組みについて学ぶことができた。 受講生へ講義で使用した資料を提供したことでより防災への知識と関心が高まった。 那覇市中央署による防災の取り組みや心肺蘇生法などの救急手法を実習したことで緊急時の対応を落ち着いて対応できるように学んだ。</p>	<p>【改善点・今後につなげる点】 ボリューム感のある講義ゆえに感想を聞く時間がつくれなかったので後日メールで感想を述べてもらうように改善をした。また、質疑応答についても事前に質問を受けて、講義内で答える形式にしたことで時間が短縮できた。 今後もメールを活用し、時間を有効活用できるように進めていきたい。</p>
4.今後の事業予定	<p>○10月31日(月)足元を知るための地域分析手法 場所:なは市民協働プラザ2階2・3会議室 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:稲垣 暁 内 容:オリエンテーション・統計データから地域を読み解く</p> <p>○11月7日(月)足元を知るための地域分析手法 場所:なは市民協働プラザ2階2・3会議室 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:宮道 喜一 内 容:MAP情報から地域を読み解く・地域防災のステークホルダーと調査手法</p> <p>○11月28日(月)足元を知るための地域分析手法 場所:なは市民協働プラザ2階2・3会議室 対象者:受講生・聴講生・オブザーバー 講 師:宮道 喜一 内 容:地域を知るためアンケート調査手法【演習】</p> <p>○11月30日(水)基礎人材育成 場所:銘苅小学校地域連携室 対象者:受講生・銘苅まち協運営委員・オブザーバー 講 師:前原 信達 長堂 和男 内 容:第5回「地域における避難行動要支援者への支援体制づくり」 第6回「地域における自主防災組織や地域防災への人材育成」</p>	

<p>5.写真 (簡単な説明文を記入)</p>	 <p>(9月26日オリエンテーション)</p>	 <p>(9月28日基礎人材育成講座)</p>
	 <p>(10月24日足元を知るための地域分析手法)</p>	 <p>(10月26日基礎人材育成講座・救急入門)</p>
<p>6.活動の成果目標</p>	<p>3校区まちづくり協議会が連携し、刻々と変化する災害対応について最新の情報やリアルな地域防災ニーズの把握、地域分析および評価の方法について習得できるよう講座・実習を行い、資格取得促進や情報資機材の先進的活用などを習得し、地域防災への人材育成を目標とする。また、他の校区まち協や自治会の連携モデルとして、防災だけでなく福祉・地域環境などさまざまなテーマで市民交流を演出し、わがまちの新しい発見を地域資源として活用できる仕組みを今回の講座受講生を中心に各校区・自治会等で講座・実習・ワークショップ等を合計30回公開・開放して地域連携の新たな試みを発展させていく。</p>	
<p>7.現時点の成果目標達成度 (例：60%達成)</p>	<p>45%達成</p>	

*10月14日(金) 提出済

*提出方法：メールにて提出

*提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。

*中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに報告発表していただいても構いません。